

## 課題 1

### 新 慶應義塾豆百科「綱町グラウンド」

三田キャンパス西門を出て中部を右に曲がっていくと、右側に綱町グラウンドがある。現在はグラウンドと空手道場、テニスコート、綱町武道館などがあり、主に中部や体育会が使用している。また南西の隅には心理学専攻の動物実験棟と飼育棟が建っている。綱町は平安時代中期の武将・渡辺綱の出生地と伝承され、オーストラリア大使館の敷地には綱が産湯をつかったとされる井戸がある。福澤諭吉は新銭座時代から運動を奨励しており、1892 年、いち早く義塾に体育会が組織され、三田山上の稻荷山付近で陸上運動会も毎年開かれていた。しかし、校舎の建築などで手狭になってきたため、1903 年、綱町の蜂須賀家所有地を購入して綱町運動場が設けられた。同年、第 1 回早慶野球戦がここで行われたことは知られており、記念碑も建てられている。日吉キャンパス開設後、様々な運動施設が整備されると、綱町グラウンドとの住み分けも進んでいった。綱町というと、綱町校舎、綱町研究室も思い浮かぶ。普通部綱町校舎は 1945 年に戦災で焼失、その後その地には中部が開校している。また、綱町研究室（文学部心理学研究室、法学部法律鑑定部等）は徳川達孝邸を購入して設置され、1943 年には亜細亜研究所（所長は小泉信三塾長）がそこに新設された。しかし戦災で大半を焼失し、廃止、その後その場所に女子高等学校が開設された。

（『三田評論』2024/12/27 より一部抜粋）

## 課題 2

2024 年 10 月 7 日

報道関係者各位

慶應義塾大学医学部

### 受動喫煙が片頭痛に与える影響 – マウスを用いた検討 –

慶應義塾大学医学部内科学教室（神経）の滝沢翼専任講師、井原慶子共同研究員らの研究グループは、受動喫煙が片頭痛に与える影響を調べるため、タバコの煙に曝露したマウスと非曝露のマウスを用いた片頭痛モデルにより、片頭痛の感受性を検討しました。片頭痛は有病率が 8.4%と頻度の高い疾患です。特に、女性では男性よりも 3.6 倍高いことが報告されています。片頭痛の誘発に関わる因子にはストレス、睡眠不足、天気、香水など、様々な要素が含まれます。受動喫煙もその一つとして考えられており、臨床の現場では、片頭痛患者に避けるよう指導することもあります。しかし、受動喫煙が実際に片頭痛誘発に関わっているのか、結論が出ていませんでした。今回、本研究グループは雄および雌マウスをタバコの煙に曝露した後、皮質拡張性脱分極モデルを用いて、片頭痛の感受性を、タバコの煙に曝露していない同じ性別のマウスと比較しました。低濃度から高濃度の塩化カリウムを順次滴下し、モデルの誘発閾値を調べました。雄マウスでは、タバコの煙への曝露によるモデルの誘発閾値の差は認められませんでした。雌マウスでは、タバコの煙に曝露されたグループで、曝露されていないグループに比べて片頭痛の感受性が高くなっていることが明らかになりました。今後も、未解明の誘発に関わる因子についてさらに多角的な研究を進め、片頭痛患者に対する生活指導や治療方針へ貢献することを目指します。

本研究成果は 10 月 2 日（日本時間）の The Journal of Headache and Pain オンライン版に掲載されました。

（プレスリリース 2024/10/7 より一部抜粋・要約）

chrome-

extension://efaidnbmninnibpcajpcgclclefindmkaj/https://www.keio.ac.jp/files/3a6206d89d85b1f06410b9c944493351e5cf3bdaba07d6f8aa6e8a6824169680